

中古資機材リサイクル国際協力事業を利用し緊急車輛をトンガ王国に寄贈した活動報告

○河村康二^{1。2)}, 鈴木千鶴^{1。2)}, 飯田好美^{1。2)}, 大塚史織^{1。2)}, 村上瑛香^{1。2)}, 河村サユリ^{1。2)},

¹⁾カワムラ歯科医院 ²⁾南太平洋医療隊

【目的】南太平洋医療隊は1998年よりトンガ王国（以下トンガ）で歯科保健を主としたボランティア活動を行っている。現在この活動はJICA（国際協力機構）との草の根技術協力事業としてトンガ全土に広がりトンガ政府の信頼も得ている。トンガでは日本のODAプロジェクト（政府開発援助）無償資金協力で、1. バイオラ病院の新築及び改修 2. 離島間連絡船の建造が成されている。私達は埼玉県国際交流協会が行っている中古資機材リサイクル国際協力事業に応募し、在トンガ日本大使館、JICA トンガ事務所の協力のもと、トンガ保健省・バイオラ病院の整備に寄与するため、緊急車輛3台を寄贈した。

【方法】埼玉県国際交流協会に中古資機材リサイクル国際協力事業を行いたい旨を伝え、事業申請書を提出、トンガ保健省から要望書を受領し、埼玉県国際交流協会の仲介により埼玉県羽生市、新座市、加須市の各消防署から、緊急車輛の所有権の移転登録、輸出予定届出証明書を取得後、車輛を受け取り整備点検後、貿易会社の指導の下、港へ搬送した。輸出許可を得た後、救急車1台、指令車1台をODAで建造されたトンガ政府所有の連絡船に積載しトンガへ輸送した。時期を異にして更に救急車1台を定期輸送船にてトンガへ輸送した。南太平洋医療隊は在トンガ大使館、JICA 事務所、保健省と埼玉県国際交流協会との連絡調整を行った。寄贈式の後、トンガ仕様に車輛を変更整備し使用されている。

【結果】今回の事業は日本のODAプロジェクト「バイオラ病院の新築」と医療機器材の調達に適合し、トンガ国民への第1次、第2次医療と、災害時の医療支援の提供、拠点を整備する目的と合致した。また「離島間連絡船の建造」を利用して2台の車輛を積載、輸送した。現在トンガバイオラ病院では、緊急車輛として活躍している。埼玉県国際交流協会及び各自治体には事後報告を行い現在に至っている。

【考察】日本政府の施策と合致し、日本大使館、JICA、国際交流協会、南太平洋医療隊、トンガ政府とが連携し緊急車輛を寄贈した事で、トンガの発展に寄与でき多くの生命を救うことができると考えられる。

教訓として車輛を受け取り、整備点検を行い輸出する事、各関係者と良い関係を保ち事業を進めよい結果が得られたと思われる。